

今夏の節電のお願い(学校の皆様)

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。事業者の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただきとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、節電の取組みに当たっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

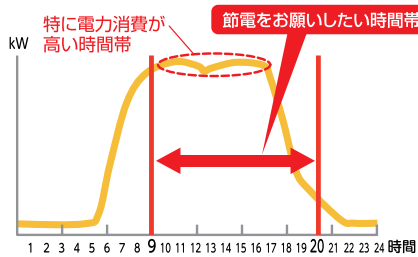
今夏の節電目標等

- ・目標：平成22年度夏季使用最大電力を基準に15%以上の節電
- ・期間：7月2日(月)から9月7日(金)までの平日(8月13日～15日を除く)
- ・時間：9時から20時まで
- ・加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝(7時～9時)や夜(20時～25時)に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

電力消費の特徴

【1日の電気の使われ方<夏期のピーク日>】

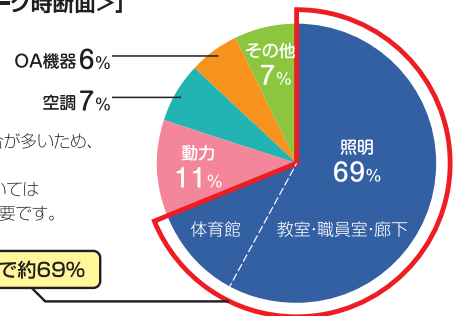
例えば、一般的な学校の就学日においては、日中(9時～17時)に高い消費電力が続きます。



【電力消費の内訳<夏期のピーク時断面>】

夏期の就学日におけるピーク時は、照明が約69%を占めています。

教室部分に空調を設置していない場合が多いため、照明の比率が高くなっています。ただし、空調を設置している学校については空調の比率が高くなることに留意が必要です。



出典：資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、照明の電力使用の工夫をご検討願います。

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

【効果的な節電項目】

照明 (非常用除く)	教室、職員室、廊下の照明を間引きする
	点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を間引き

建物全体に対する節電効果(試算)

16% (約4割程度間引きの場合)
2% (1/4程度の場合)

※節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。

※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

上記の節電項目に合わせて以下の取組みをご検討いただければ、さらに効果的です。

空調	<ul style="list-style-type: none"> ●不利用エリア(教室、音楽室等)の空調を停止 ●日射を遮るために、緑のカーテン、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する ●空調機のメンテナンスや設定変更 他
照明・コンセント・動力	<ul style="list-style-type: none"> ●高効率蛍光灯やLED照明への交換 ●待機電力の削減 ○不利用室の機器はコンセントから抜いておく ○夏休み中は、テレビなど不利用機器はコンセントから抜いておく ●プールの水位調整のための給排水を少なくするように工夫する 他
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施 ●自家発電設備(常用)の活用 他

出典：経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

電力不足がいよいよ深刻になった場合は・・・

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。

停電が起こらないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、照明の一齐消灯、エアコン、パソコン、コピー機の一時停止など、一層の対応をお願いします。

関西電力(株)では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、需給調整にかかる料金メニューなどに関する情報を、ホームページに掲載しています。
関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>